

べご、産まれる

牛のこと、「べご」って言うんですね。八島英俊さん宅で生まれそうだというので、見学に行きました。夜、雪の降る中、獣医さんが到着。直接産道に手を入れてお腹の子のチェックし、産気を促します。今回は予定日より10日ほど遅れていたらしく、お腹の中で大きくなりすぎて母牛にも危険性があったとのこと。獣医さんは手探りで、器用にお腹の中の仔牛の足と頭に紐をくくりつけました。そして、「はいこれ、持って。引っ張って。」急に言われたので多少驚きましたが、お手伝いさせてもらえることに。大人3人で全力で引っ張り、無事産まれてくれました。ですがまだ安心はできません。母親が仔牛を蹴ってしまう場合もあるらしいです。しばらくすると母親が仔牛を舐め始めました。これでポーッとになっていた仔牛もシャンと目覚めるとのこと。こうやって大変な思いをして産まれた仔牛ですが、将来は私たちのために、命を犠牲にして食用になると思うと複雑な気持ちになりました。感謝することを忘れず美味しくいただきます。貴重な体験をありがとうございました。



3月号

Vol.5

協力隊通信

宮原 治代
(ミヤハラ ハルヨ)

柴田町の協力隊

柴田町の協力隊が活動報告を行うということで行ってきました。彼は蕎麦で起業型地域おこしを行っています。なので、本当の目的は「蕎麦が食べたい」でした。自分で育てた蕎麦を収穫し、実を挽き、蕎麦を打つ。大変な事だと思います。今回の蕎麦は田舎蕎麦寄りでした。コシがあって美味しかったです。そして魚介から採った、こだわりの手作りそばつゆも感動しました。購入して、醤油代わりに使っています。今後も定期的に行いたいとのこと、ぜひいろんな人に食べてもらって欲しいです。頑張ってる人からいい刺激もらえました。

めばる釣りのはずが。

この日のターゲットはメバル。朝6時閑上港から出船しました。この日はとても穏やかで最高の海釣り日和でした。が、しかし！全然釣れない！！反応無さすぎて居眠りかぶりながら釣竿持ってました。釣果:カレイ、どんこ。弘法も筆の誤りやね！と自分を励まし、今度こそ頑張ります！





竹炭の活用

耕野に来る前までは竹炭に関してほとんど無知でした。いろんな方とお話していると、竹に関連する情報が入り、「竹炭って何か面白そう。」と思うようになりました。どちらかというとも木炭より竹炭に興味がある私は、「まずは現場を知らんばでけん。」ということで『NPO 法人あぶくまの里山を守る会』の炭焼きにお邪魔しました。「火見せて。」と任せましたが、これまた奥が深い。(まあ消えないように見とけばいいんやろ)とこれが大間違い。火の動きで窯内の温度が高いか低いかわかるのだそう。温度が低かったらコレ、高かったらコレ、煙の具合でもわかります。大忙しで重要なポジションでした。その他私が企んでいる実験にもご協力いただけるということで、本当に感謝です！これからもよろしくお願いします。



裏です。

飾り巻き寿司に挑戦

食育会研修会に参加しました。感染予防対策を徹底したうえで、飾り巻き寿司に挑戦。飾り巻き寿司は食べるのがもったいないくらい、断面のきれいな巻き寿司です。これは空間能力が問われる脳トレだと思いました。自称「手先が器用」だったんですが、巻き寿司は悪戦苦闘し、こんなはずじゃなかった結果になりました。



余談ですが

地震すごかったですね！生まれて初めての大地震。布団持って車に飛び乗りました。そして翌々日は大雨警報。しかし、みなさん余裕というか慣れてらっしゃるといふか。地震と大雨と2日避難したのはワタシー人でしたよ～。